

北電

第91期年度報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日



- 3 株主の皆さまへ
- 4 2015(平成27)年度 北陸電力グループの取組み
- 6 志賀原子力発電所
安全性向上施策の工事内容の充実について
- 8 事業の概況
- 10 財務諸表
- 14 財務・株式データ
- 16 新幹線に生きる 北陸の技
- 18 株主information

表紙

新幹線に生きる 北陸の技

2015(平成27)年3月14日、北陸新幹線が金沢まで開業しました。これにより、最速で東京ー富山間は2時間8分、東京ー金沢間は2時間28分で結ばれました。富山と石川は駅舎に、開業が待たれる福井は新幹線車両にと、北陸3県がそれぞれの技を提供して、新幹線で訪れる人々を迎え入れています。



画：寺口 康信

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

このたびの定時株主総会および取締役会において、取締役会長に久和 進、取締役社長執行役員に金井 豊が選任され、就任いたしました。今後とも、当社グループの発展のために全力を尽くしてまいり所存でございます。

また、併せてトップマネジメント改革を実施いたしました。社外取締役を導入するとともに、業務執行責任の明確化を図るため、社長以下の取締役は役付執行役員を兼務いたします。この改革により、従来以上に健全かつ透明性の高い経営を行ってまいります。

現在、原子力発電所の停止による厳しい電力需給や収支状況が続く中、電力システム改革による小売全面自由化など、当社グループを取り巻く事業環境は大きく変わろうとしています。このような中においても、お客さまに「低廉で良質なエネルギーを安定的にお届けする」という当社グループの社会的使命を果たし続けるため、諸課題に着実に対処してまいります。

まずは志賀原子力発電所の再稼働に向け、敷地内シームの問題解決への対応をはじめ、2号機の新規制基準への適合性確認審査への対応や安全性向上工事を確実に進め、地域の皆さまからのご理解を得られるよう努めてまいります。

また、小売全面自由化に備え、安全最優先を前提とした経営効率化に最大限取り組むとともに、お客さまのニーズを踏まえた営業活動を展開し、コストだけでなくサービスや業務品質などあらゆる点において、競争力を一層高めていく所存です。

これらの取組みを着実に進め、皆さまから「信頼され選択される北陸電力グループ」を目指してまいります。

期末配当につきましては、厳しい収支状況ではありますが、安定配当継続の方針に基づき、1株につき25円とさせていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、当社グループに対し、なお一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



平成27年6月 取締役会長 久和 進 取締役社長 社長執行役員 金井 豊

2015(平成27)年度 北陸電力グループの取組み



「低廉で良質なエネルギーを安定的にお届けする」という使命を果たすため、志賀原子力発電所の再稼働に向けた取組みをすすめてまいります。

また、小売全面自由化に備え、あらゆる点で競争力を高め、皆さまから「信頼され選択される北陸電力グループ」を目指してまいります。

Q 志賀原子力発電所の再稼働に向けた取組みは？

A 引き続き安全強化に徹底して取り組むとともに、敷地内シームの問題解決や新規規制基準への適合性確認審査に的確に対応してまいります。

当社は、2013年12月、敷地内シームに関して「将来活動する可能性のある断層等ではなく、また、活動性、連続性等からみて、周辺断層との関連性はない」とする最終報告書を原子力規制委員会に提出しました。当社の評価内容についてご理解いただけるよう、引き続き的確に対応してまいります。

また、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を踏まえた、津波等に対する「安全強化策」については、2013年9月までに一部を除いて完了いたしました。新規規制基準も踏まえた「安全性向上施策」についても、工事を着実に進め、2014年8月に、志賀原子力発電所2号機について、新規規制基準への適合性確認に係る申請を行いました。その後、2014年12月に、審査が先行している他社の発電所の審査状況も踏まえ、より一層の安全性向上を図る観点から、「安全性向上施策」の工事内容を充実することとしました。今後も、審査状況や

新たな知見を把握し先行して対処するなど、早期に工事を完了するよう努めるとともに、世界最高水準の安全性を目指してまいります。

Q 電力の安定供給確保のための対策は？

A 水力・火力発電所の補修時期の調整などの対策を講じるとともに、現在、高稼働が続いている設備や高経年設備の更新、補修を計画的に実施してまいります。

志賀原子力発電所の長期停止により、火力発電所の高稼働が続いています。そのような中においても、供給力確保のため、国への点検時期の繰り延べ申請や点検期間の短縮、短期の中間点検の実施など、最大限の対策を講じ、需要が高まる夏と冬をできるだけ避けて定期点検を実施しています。

また、高度成長期に施設した流通設備の更新工事が今後ピークを迎えることを踏まえ、長期的な更新工事計画の平準化や施工体制を確保し設備の機能維持を図ることにより、電力の安定供給を確保してまいります。

Q 電源の低炭素化に向けた取組みは？

A 当社初のLNG火力発電所の新設や、費用対効果を踏まえた再生可能エネルギーの開発に着実に取り組んでまいります。

富山新港火力発電所石炭1号機をリプレースし、CO₂排出量を大幅に低減できるLNG(液化天然ガス)を燃料とする当社初のコンバインドサイクル発電設備*を導入いたします(2018年11月運転開始予定)。

水力発電については、片貝別又発電所の建設や、既存発電所の設備改修等を進めることにより、2020年度までに1億kWh/年拡大(2007年度対比)することを目標に取り組んでまいります。

また、当社グループの日本海発電(株)は、テクノポート福井において、新たな風力発電の建設を計画しており、2015年11月の着工に向け、準備を進めております。

*ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせた発電設備で、従来の蒸気タービンでの発電と比較して熱効率が高く、エネルギーの有効活用が図れる。

Q 経営効率化のための取組みは？

A 資機材調達コストや石炭調達コストの低減拡大等により、更なる効率化に取り組んでまいります。

志賀原子力発電所の停止に伴う燃料費増加など厳しい経営環境に対処すべく、あらゆる分野に関して、組織・部門・グループの垣根を越えた徹底的な効率化に丸となって取り組んでおります。

2015年度はこれまでの経営効率化の取組みをベースに、

資機材調達コストや石炭調達コストの低減拡大等により、更なる効率化に取り組んでまいります。

Q 小売全面自由化に向けて、北陸電力を選んでいただくための施策は？

A お客さまのご契約内容や電気の使用状況、ニーズ等を踏まえた営業活動を実施してまいります。

お客さまとの双方向のコミュニケーションを行うとともに、お客さまのニーズに、よりの確にお応えすることを目的とした会員サービスを導入し、2015年4月から募集を開始いたしました。

電気料金やご使用状況をパソコンで確認できる「電気料金・使用量照会サービス」(2015年8月開始予定)をはじめ、更なるサービスの充実に努めてまいります。

Q 個人・組織の能力発揮に向けた取組みは？

A 女性の更なる活躍や、男女ともに働きがいのある職場づくりを推進してまいります。

女性従業員の活躍を後押しするため、2016年を目途に2013年の2倍程度の女性役職者数とすることを目指し取り組んでいます。

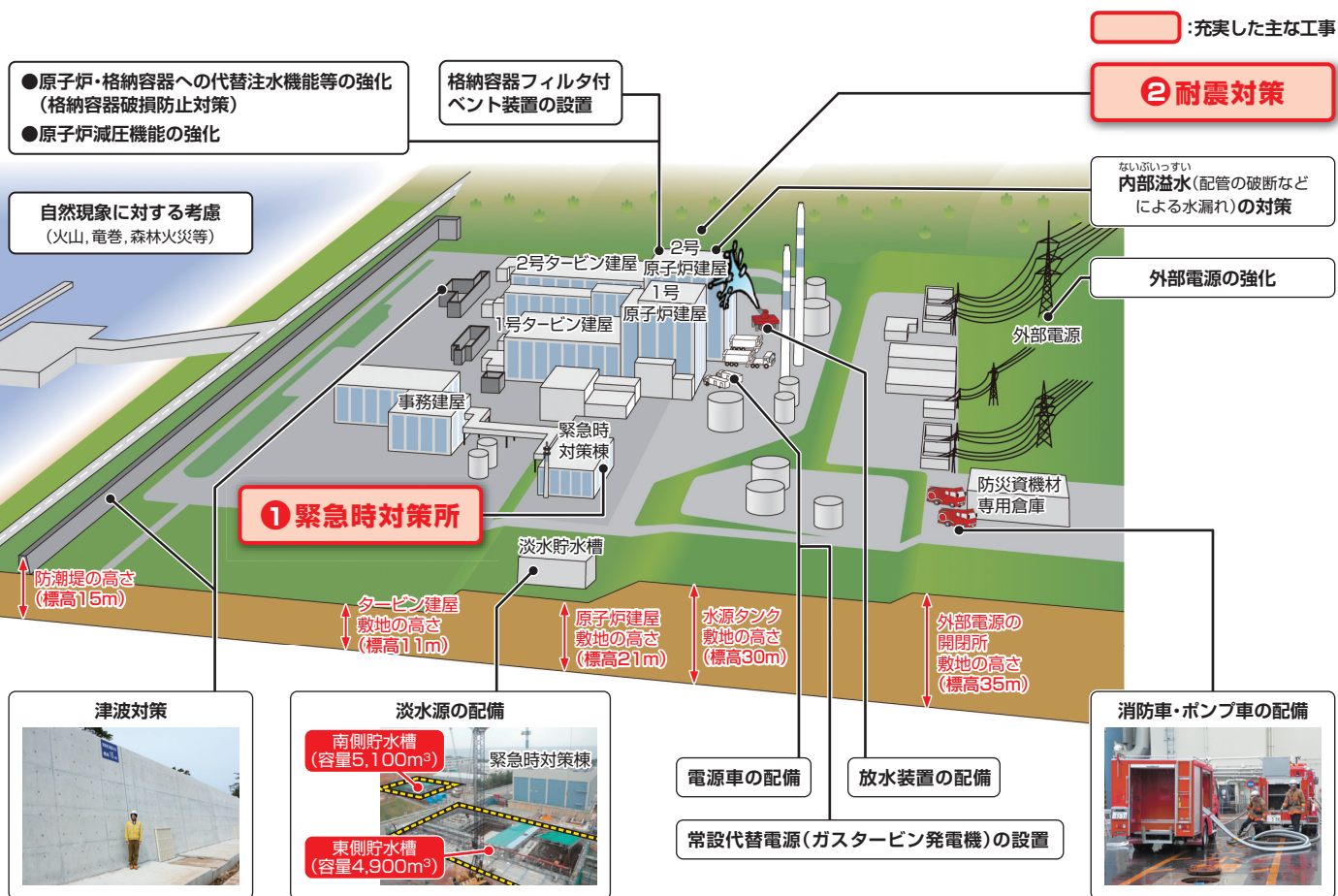
また、女性が活躍しやすい職場環境づくりに向け、女性の活躍やダイバーシティ、ワーク・ライフ・バランス(WLB)の推進に向けた施策を実行する専任組織「プログレス推進チーム」を2015年4月に設置しました。引き続き女性の更なる活躍や男女ともに働きがいのある職場づくりを推進してまいります。

志賀原子力発電所 安全性向上施策の工事内容の充実について

当社は、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を踏まえた「安全強化策」に続き、新規規制基準も踏まえた「安全性向上施策」の現地工事を2013(平成25)年より開始しました。2014(平成26)年には志賀原子力発電所2号機の新規規制基準への適合性確認審査のための申請を原子力規制委員会に行いました。

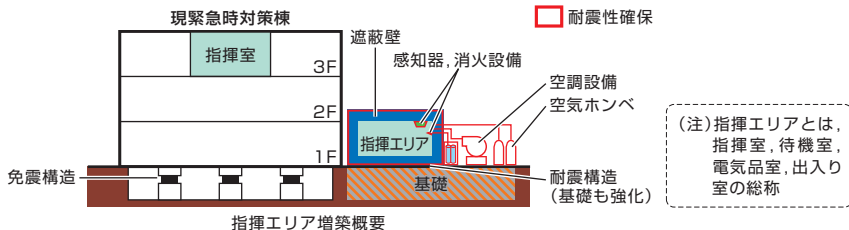
その後、審査が先行する他社の発電所の審査状況等も踏まえて、より一層の安全性向上の観点から、安全性向上施策の工事内容を充実することとしました。充実した工事は、緊急時対策所や耐震、火災防護に関する工事等であり、これにより工事完了時期を、2014(平成26)年度中から1年程度延長し、2015(平成27)年度末としました。

志賀原子力発電所2号機 安全対策の概要



① 緊急時対策所

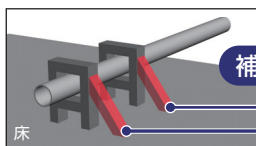
■ 重大事故時の指揮を行う場所として、放射線遮へい機能と耐震性確保・火災防護対策を強化させるため、指揮室が入る指揮エリアを緊急時対策棟の隣に増築



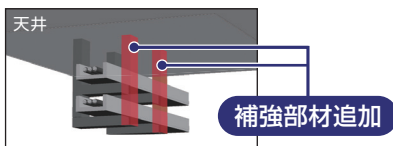
工事状況 (平成27年4月現在)

② 耐震対策

■ 耐震対策の強化に伴い、耐震工事の範囲を拡大



配管サポート補強例



ケーブルトレイサポート補強例

■ 火災防護対策の強化に伴い、火災発生防止、火災の感知・消火、火災の影響を軽減する設備に対しても耐震を強化

新たに配備した主な機器

可搬型代替海水ポンプ(大容量ポンプ車) [3台]

重大事故等対応における海水による除熱や淡水貯水槽、放水装置への海水供給に使用するポンプ車



高所注水車 [2台]

使用済燃料プールの水が漏えいや蒸発して不足する場合に、冷却水を原子炉建屋(地上高さ: 約38m)外部から供給する注水車



当社は引き続き、志賀原子力発電所の安全性をより一層高めてまいります。

事業の概況

(単位：億kWh)

	平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	増 減 (A) - (B)	対 比 (A) / (B)
販 売 電 力 量	279	281	△2	99.3%

(注) 億kWh未満四捨五入

(単位：億円)

	平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	増 減 (A) - (B)	対 比 (A) / (B)
売 上 高 (営 業 収 益)	5,327	5,096	231	104.5%
営 業 利 益	399	198	201	201.2%
経 常 利 益	223	98	124	225.6%
当 期 純 利 益	89	25	64	357.2%

(注) 億円未満四捨

収支の状況

当年度の我が国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動などにより、期の前半は、個人消費が減少し企業の業況感も悪化するなど景気は弱含みとなりました。

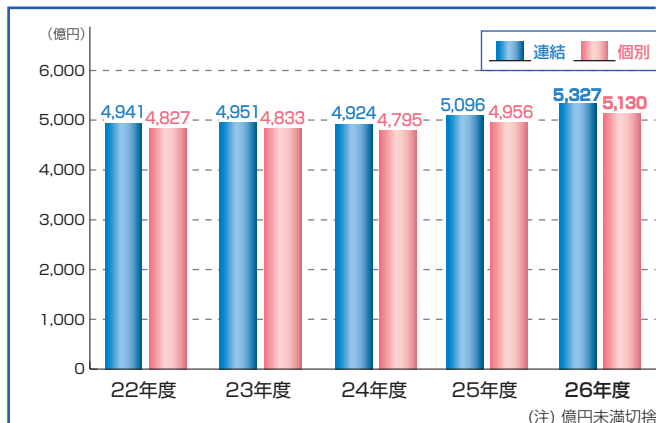
しかしながら、期の後半に入り、生産活動の持ち直しや円安を背景とした輸出の増加などから企業収益が改善し、雇用・所得環境も改善傾向で推移するなど、緩やかな回復基調が続きました。北陸地域においては、本年3月に北陸新幹線が金沢まで開業したことへの期待もあり、同様の状況で推移いたしました。

このような経済情勢のもと、当年度の連結収支につきましては、売上高(営業収益)は、電気事業において販売電力量が減少したものの、再生可能エネルギー

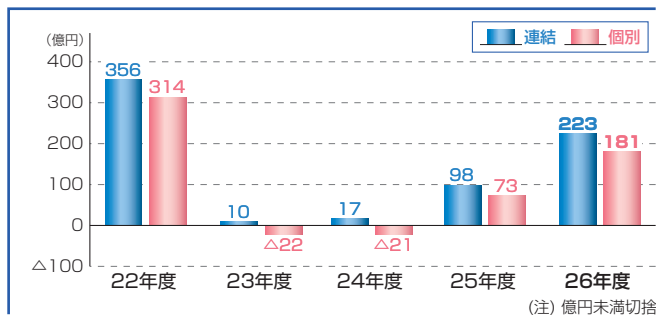
発電促進賦課金や交付金の増加および卸電力取引所販売の増加に加え、北陸エルネス(株)を連結の範囲に含めたことなどから、前年度に比べ231億円増の5,327億円となり、これに営業外収益を加えた経常収益は230億円増の5,364億円となりました。

また、経常利益は、電気事業において修繕費等は増加したものの、石炭火力発電所の定期点検日数が前年に比べ少なかったことによる石油火力の発電量の減少および燃料価格の低下により、燃料費が減少したことに加え、経費全般にわたる効率化に努めたことなどから、前年度に比べ124億円増の223億円となりました。これに、湯水準備金を引き当て、法人税等を計上した結果、当期純利益は前年度に比べ64億円増の89億円となりました。

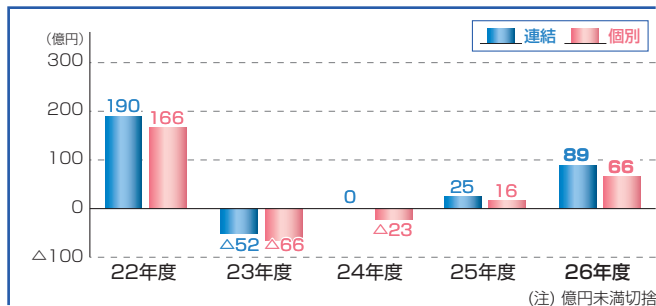
■売上高の推移



■経常利益の推移



■当期純利益の推移



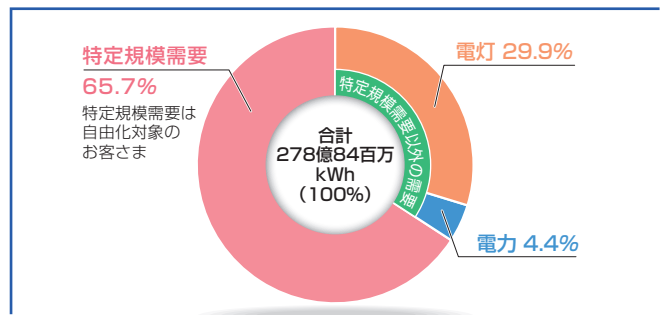
販売の状況

当年度の販売電力量につきましては、電灯および業務用は、夏季の気温が前年より低かったことによる冷房需要の減少などから、前年度を下回りました。

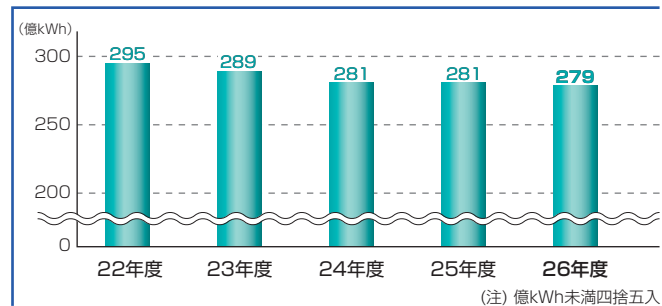
産業用その他は、大口電力で機械や化学が増加したことなどから、前年度を上回りました。

この結果、販売電力量は278億84百万キロワット時（うち特定規模需要183億24百万キロワット時）となり、前年度と比較すると0.7%の減少となりました。

■当年度販売電力量の構成比



■販売電力量の推移



連結貸借対照表の要旨

(単位: 億円)

資 産 の 部			負 債 及 び 純 資 産 の 部		
科 目	当 期 末 (平成27年3月31日現在)	前 期 末 (平成26年3月31日現在)	科 目	当 期 末 (平成27年3月31日現在)	前 期 末 (平成26年3月31日現在)
固 定 資 産	12,035	11,603	固 定 負 債	8,949	8,923
電気事業固定資産	8,334	8,636	社 債	4,053	4,386
水力発電設備	1,079	1,105	長期借入金	3,685	3,320
火力発電設備	1,115	1,128	流 動 負 債	2,236	2,090
原子力発電設備	1,768	1,925	1年以内に期限到来の固定負債	877	1,009
送電設備	1,648	1,690	短期借入金	160	158
変電設備	873	878	引 当 金	166	139
配電設備	1,465	1,508	負 債 合 計	11,352	11,153
固定資産仮勘定	822	349			
核 燃 料	1,050	998	株 主 資 本	3,187	3,170
投資その他の資産	1,390	1,338	資 本 金	1,176	1,176
流 動 資 産	2,759	2,797	資 本 剰 余 金	339	339
現金及び預金	1,743	1,846	利 益 剰 余 金	1,704	1,687
受取手形及び売掛金	539	426	自 己 株 式	△33	△32
たな卸資産	220	243	その他の包括利益累計額	169	77
			少 数 株 主 持 分	85	0
			純 資 産 合 計	3,442	3,248
合 計	14,794	14,401	合 計	14,794	14,401

連結株主資本等変動計算書の要旨

(単位: 億円)

	株 主 資 本					その他の 包括利益 累計額	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当 期 首 残 高 (平成26年4月 1日現在)	1,176	339	1,687	△32	3,170	77	0	3,248
当 期 変 動 額 合 計 (自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日)	—	—	16	△0	16	92	85	193
当 期 末 残 高 (平成27年3月31日現在)	1,176	339	1,704	△33	3,187	169	85	3,442

連結損益計算書の要旨

(単位: 億円)

費用の部			収益の部		
科目	当期 (自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日)	前期 (自 平成25年4月 1日 至 平成26年3月31日)	科目	当期 (自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日)	前期 (自 平成25年4月 1日 至 平成26年3月31日)
営業費用	4,928	4,897	営業収益	5,327	5,096
電気事業営業費用	4,746	4,767	電気事業営業収益	5,108	4,932
その他事業営業費用	181	130	その他事業営業収益	219	163
営業利益	(399)	(198)			
営業外費用	212	136	営業外収益	36	37
当期経常費用合計	5,140	5,034	当期経常収益合計	5,364	5,133
当期経常利益	223	98			
濁水準備金引当又は取崩し	26	40			
税金等調整前当期純利益	196	58			
法人税等	106	32			
当期純利益	89	25			
(参考) 包括利益	182	31			

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位: 億円)

科目	当期 (自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日)	前期 (自 平成25年4月 1日 至 平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,131	816
税金等調整前当期純利益	196	58
減価償却費	703	708
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,040	△600
財務活動によるキャッシュ・フロー	△193	467
社債・借入金等の純増減額	△88	571
自己株式の取得・売却	△0	△0
配当金の支払額	△104	△104
現金及び現金同等物の増加額	△102	683
現金及び現金同等物の期首残高	1,846	1,163
現金及び現金同等物の期末残高	1,743	1,846

連結子会社(13社)

- 日本海発電(株)
 - 北陸発電工事(株)
 - 北電テクノサービス(株)
 - 北陸電気工事(株)
 - 日本海コンクリート工業(株)
 - 北陸通信ネットワーク(株)
 - 北電情報システムサービス(株)
 - 北陸エルネス(株)
 - 北電産業(株)
 - 日本海環境サービス(株)
 - 北電技術コンサルタント(株)
 - (株)北陸電カリビングサービス
 - 北電パートナーサービス(株)
- (平成27年3月31日現在)

持分法適用関連会社(1社)

- (株)ケーブルテレビ富山
- (平成27年3月31日現在)

個別財務諸表

貸借対照表の要旨

(単位: 億円)

資 産 の 部			負 債 及 び 純 資 産 の 部		
科 目	当 期 末 (平成27年3月31日現在)	前 期 末 (平成26年3月31日現在)	科 目	当 期 末 (平成27年3月31日現在)	前 期 末 (平成26年3月31日現在)
固 定 資 産	11,746	11,360	固 定 負 債	8,810	8,807
電気事業固定資産	8,339	8,569	社 債	4,054	4,386
水力発電設備	1,002	1,024	長期借入金	3,668	3,285
火力発電設備	1,118	1,132	流 動 負 債	2,189	2,125
原子力発電設備	1,775	1,929	1年以内に期限到来の固定負債	870	1,001
送電設備	1,668	1,698	短期借入金	150	150
変電設備	879	881	引 当 金	166	139
配電設備	1,543	1,541	負 債 合 計	11,166	11,073
固定資産仮勘定	808	343			
核 燃 料	1,050	998	株 主 資 本	2,935	2,940
投資その他の資産	1,419	1,396	資 本 金	1,176	1,176
流 動 資 産	2,448	2,719	資 本 剰 余 金	339	339
現金及び預金	1,619	1,822	資 本 準 備 金	339	339
売 掛 金	413	406	利 益 剰 余 金	1,452	1,456
貯 蔵 品	190	232	利 益 準 備 金	283	283
			自 己 株 式	△33	△32
			評 価 ・ 換 算 差 額 等	92	65
			純 資 産 合 計	3,028	3,005
合 計	14,194	14,079	合 計	14,194	14,079

株主資本等変動計算書の要旨

(単位: 億円)

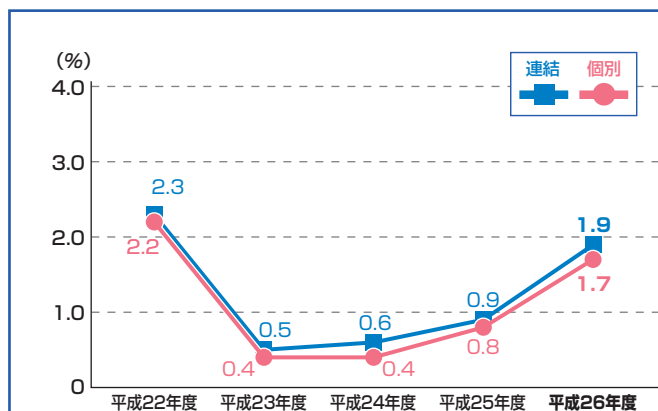
	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等	純 資 産 合 計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当 期 首 残 高 (平成26年4月 1日現在)	1,176	339	1,456	△32	2,940	65	3,005
当 期 変 動 額 合 計 (自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日)	—	—	△4	△0	△4	26	22
当 期 末 残 高 (平成27年3月31日現在)	1,176	339	1,452	△33	2,935	92	3,028

損益計算書の要旨

(単位: 億円)

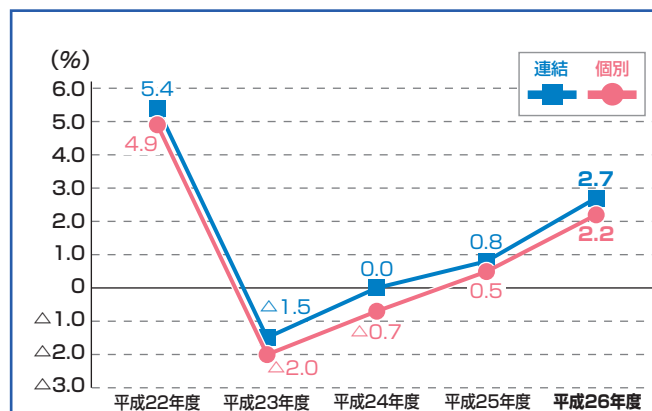
費用の部			収益の部		
科目	当期 (自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日)	前期 (自 平成25年4月 1日 至 平成26年3月31日)	科目	当期 (自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日)	前期 (自 平成25年4月 1日 至 平成26年3月31日)
営業費用	4,777	4,799	営業収益	5,130	4,956
電気事業営業費用	4,769	4,790	電気事業営業収益	5,114	4,939
附帯事業営業費用	7	9	附帯事業営業収益	15	17
営業利益	(352)	(157)			
営業外費用	202	134	営業外収益	30	51
財務費用	153	128	財務収益	16	35
事業外費用	48	5	事業外収益	13	15
当期経常費用合計	4,979	4,934	当期経常収益合計	5,160	5,007
当期経常利益	181	73			
濁水準備金引当又は取崩し	26	40			
税引前当期純利益	154	32			
法人税等	87	16			
当期純利益	66	16			

■ 総資産営業利益率 (ROA)



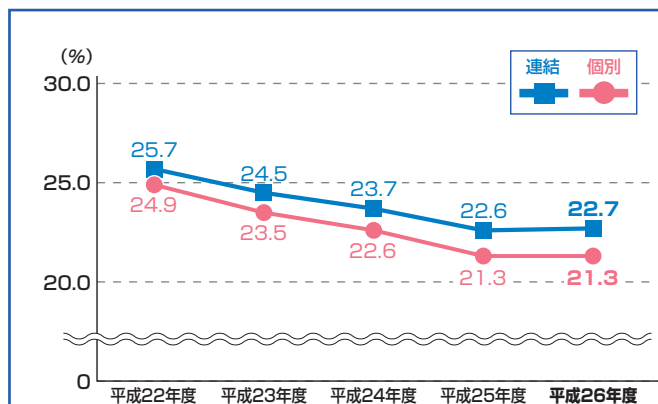
$$\text{総資産営業利益率 (ROA)} = \frac{\text{税引後営業利益}}{\text{総資産 (期首期末平均)}} \times 100 (\%)$$

■ 自己資本利益率 (ROE)



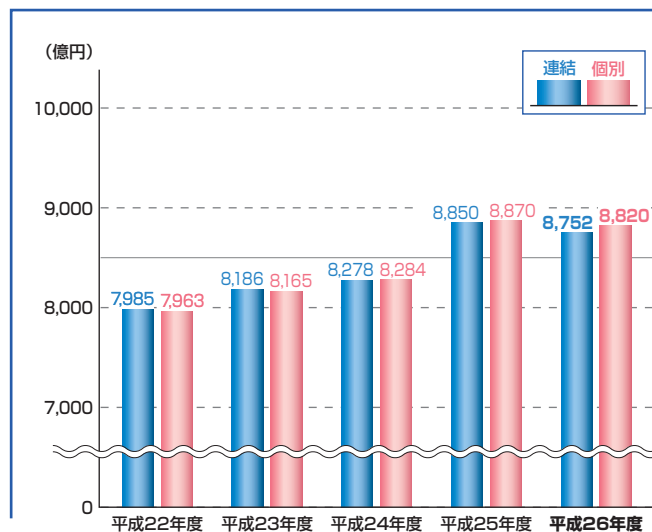
$$\text{自己資本利益率 (ROE)} = \frac{\text{当期純損益}}{\text{自己資本 (期首期末平均)}} \times 100 (\%)$$

■ 自己資本比率



$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本}}{\text{総資本 (総資産)}} \times 100 (\%)$$

■ 有利子負債残高

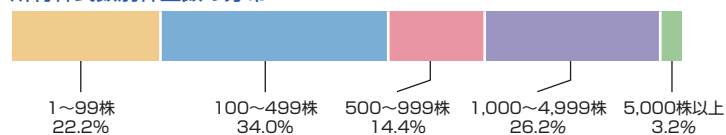


(注) 億円未満切捨

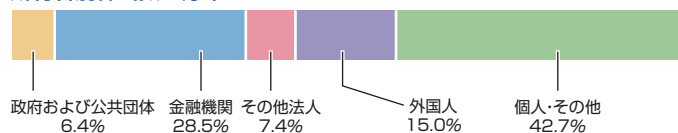
株式の状況 (平成27年3月31日現在)

発行済株式総数…………… 2億1,033万3,694株
株主数…………… 9万1,973名

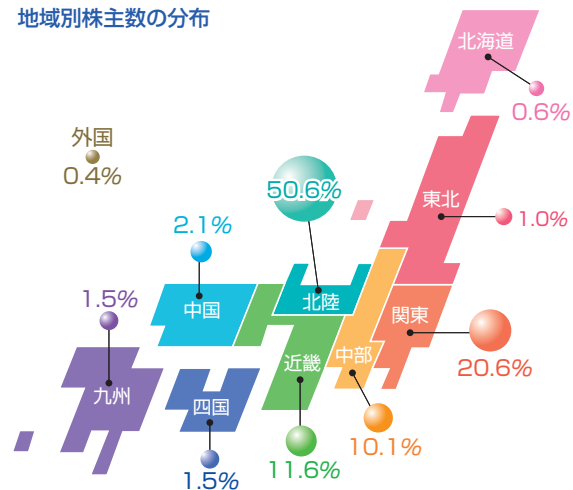
所有株式数別株主数の分布



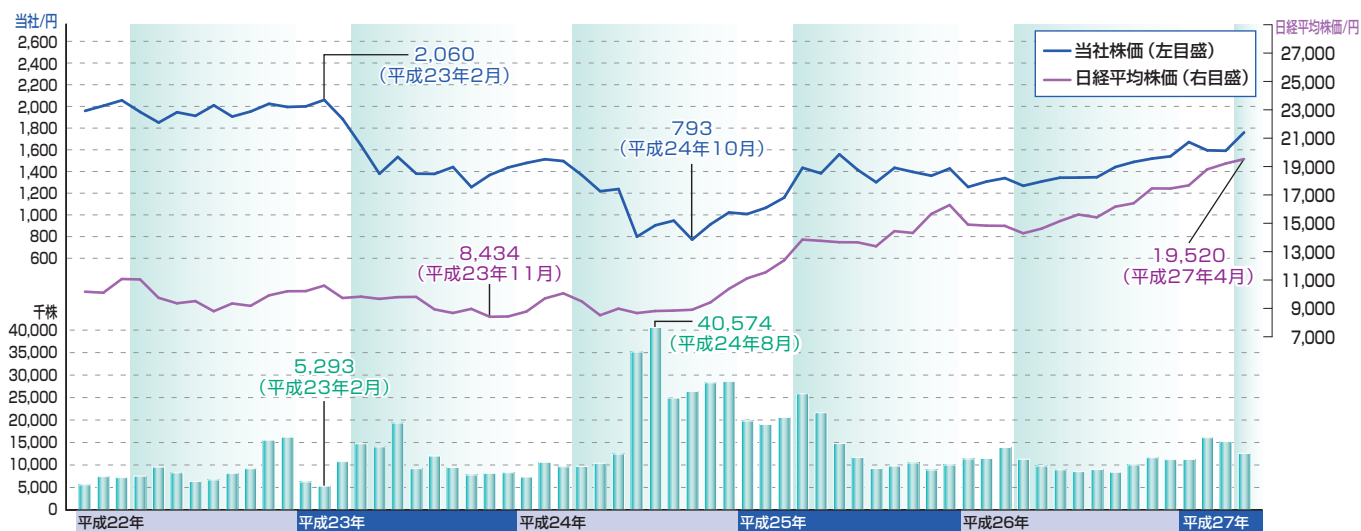
所有者別株式数の分布



地域別株主数の分布



当社株価(月末終値)および出来高の推移





北陸の人々にとって念願だった北陸新幹線が、今春金沢まで開業しました。駅や新幹線車両などに3県それぞれの技が活かれています。その北陸の技を、ご紹介します。



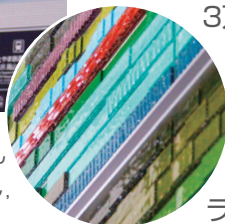
2015(平成27)年3月14日、北陸新幹線が東京から金沢まで開業しました。さらに、2022(平成34)年度末の敦賀までの延伸をめざして、工事が進められています。



訪れる人々を迎え入れる キラキラと光輝くガラスたち。



↑「トランジット・ライティング・ウォール」の前で笑顔の名田谷さん
→ブルーとグリーンを印象深く配し、富山の海と山を表現している



「ガラスの街とやま」として、ガラス工芸の振興に力を注いでいる富山市。新幹線で訪れる人を迎え入れようと、JR富山駅にふたつのガラスアートを設置しました。ひとつは新幹線の改札から出て正面にある「トランジット・ライティング・ウォール」。幅35メートル、高さ7メートルにも及ぶ装飾壁で、細長い色ガラス板を3万枚以上も使用しています。もうひとつは、床をガラスと

光で演出する「フロアシャンデリア」です。制作指揮をとった(一財)富山市ガラス工芸センターの名田谷隆平さんは、「地元のガラス工芸家や協力企業など、大勢の人が関わった賜物」と言います。ライトに照らされたカラフルな光が、幻想的な空間を生み出しています。



もうひとつの新しい目玉、「フロアシャンデリア」



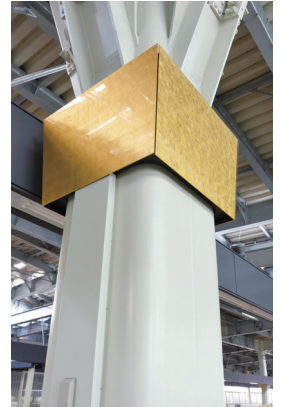
圧巻の数の伝統的工芸品が「おもてなし」してくれる駅。

JR金沢駅は、北陸新幹線開業を記念して、多種多彩な伝統的工芸品でおもてなしする駅になりました。

中でも圧巻なのは新幹線待合室の「^{ひゃっこう}百工の間」で、古よりこの地に受け継がれてきた30品目の伝統的工芸品236点を展示し、利用客の目を楽しませています。また、コンコースの柱や通路壁面には九谷焼きや加賀友禅、輪島塗などの伝統的工芸品が飾られています。さらに、ホームの柱にも金沢箔を2万枚以上使用。駅の至る所で、石川の伝統的工芸品の奥深さを感じることができます。



↑ 236点の伝統的工芸品を鑑賞できる「百工の間」



↑ 最高級の金沢箔の輝きが新幹線の客を出迎える



「陸のファーストクラス」を、卓越した技で彩る。



数百枚の試作を重ねてできた技だ

北陸新幹線の車両にも、北陸の技術が生きています。その中のひとつが、セーレン(株)が開発したデジタルプロダクションシステム「ビスコテックス」です。グランクラスの車両デッキのパネルは、この技術を駆使して加賀友禅の意匠を表現したものです。

「布以外のものにも高い意匠性で表現できる技術なのですが、素材がアルミ板なのは初めて。私たちとしても新しい技を開発しなければなりません」と、制作チームの窪田治和さん。努力が実り、織りの質感まで忠実に、加賀友禅の華やかさを見事に表現しました。



↑ ビスコテックスにより、アルミ板に布の織りの質感まで表現

← 布地の質感をイメージさせる、グランクラスの車両デッキのパネル

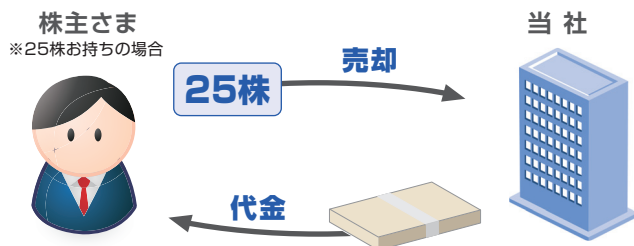
株主information

100株未満の株式をお持ちの株主さまへ

当社は100株を1単位としており、市場で売買したり、株主総会で議決権を行使したりするためには、100株単位にしていただく必要があります。このため、当社は以下の制度をご用意しております。手数料は無料としておりますので是非ご活用ください。

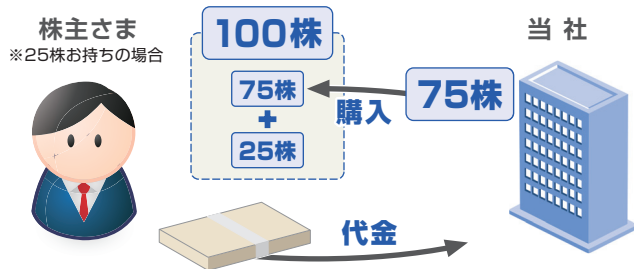
※証券会社の口座に単元未満株式をご所有の株主さまは、証券会社での手数料がかかる場合があります。

■単元未満株式の買取制度



株主さまがご所有の単元未満株式を処分したい場合、当社に単元未満株式を売却できる制度です。

■単元未満株式の買増制度



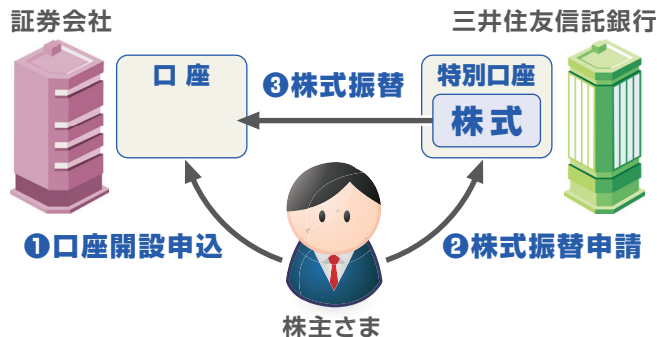
株主さまがご所有の単元未満株式を1単位(100株)にしたい場合、当社から単元未満株式を購入できる制度です。

証券会社に口座をお持ちでない株主さまへ

平成21年の株券電子化により、株主さまの権利は電子的に証券会社の口座で管理されることになりました。それまでに証券会社に口座をお持ちでない株主さまの株式につきましては、その権利を確保するために、当社は三井住友信託銀行に「特別口座」を開設して株式を管理しております。

この特別口座の株式につきましては、売買や譲渡(贈与など)ができません。(単元未満株式の買取・買増制度はご利用いただけます。)

このため、証券会社にご本人名義の口座を開設され、特別口座から株式の振替手続きをされることをおすすめいたします。



お手続きのお問い合わせ先

〈証券会社に口座をお持ちの株主さま〉
口座を開設された証券会社にお申し出ください

〈証券会社に口座を開設されていない株主さま(特別口座株主さま)〉
三井住友信託銀行 証券代行部にお申し出ください

 0120-782-031

株主さま限定 当社施設見学会のご案内

見学先

- 志賀原子力発電所, アリス館志賀, 志賀太陽光, 福浦風力発電所等(石川県羽咋郡志賀町)
- 有峰ダム等(富山県富山市)

※見学の際には、バスの乗り降りや階段の昇り降りがありますのでご了承ください。

対象 株主さま

※ご家族の方は、株主さまとの同伴に限り1名参加できます。

参加費 無 料

※ご自宅から集合・解散場所までの往復交通費は、株主さまのご負担とさせていただきます。

見学コース

- 志賀原子力発電所, アリス館志賀, 志賀太陽光, 福浦風力発電所等

・志賀原子力発電所内はバスで敷地内を見学します。

・志賀原子力発電所内見学の際には、見学者ご本人が確認できる証明書(顔写真付公的身分証明書(運転免許証・パスポート)など)が必要です。当日、お持ちでない方は原子力発電所の見学ができません。ご理解とご協力をお願いします。

コース番号	実施日	集合・解散場所	予定時間	募集人数
1	9月 3日(木)	富山駅	8時10分～17時30分	40名
2	9月 8日(火)	金沢駅	8時20分～16時20分	40名
3	9月10日(木)	福井駅	7時40分～18時00分	40名

- 有峰ダム等

コース番号	実施日	集合・解散場所	予定時間	募集人数
4	9月15日(火)	富山駅	9時00分～16時00分	25名
5	9月17日(木)	金沢駅	8時20分～16時30分	25名
6	9月29日(火)	福井駅	8時20分～17時30分	25名

※いずれのコースも上記の集合・解散場所以外での集合・解散はできませんのでご了承ください。

行程 集合場所 → 施設見学・昼食 → 解散場所

下記のとおり、必要事項をご記入のうえ、郵便はがきでお申し込みください。

郵便はがき

52円切手 930-8686

北陸電力(株)
総務部株式チーム行

富山市牛島町15-1

- ① 希望コース番号 (1コースのみ選択)
- ② 株主さまのお名前 (ふりがな)
- ③ 株主番号
- ④ 郵便番号
- ⑤ ご住所
- ⑥ 電話番号
- ⑦ 生年月日(和暦)
- ⑧ 性別

[同伴者ご希望の場合]

- ⑨ 同伴者の方のお名前 (ふりがな)
- ⑩ 郵便番号
- ⑪ ご住所
- ⑫ 電話番号
- ⑬ 生年月日(和暦)
- ⑭ 性別

お申し込み方法

※記載もれがないようお願いいたします。

※この募集により当社が取得する個人情報、本施設見学会の運営に利用し、その他の目的には利用いたしません。

※株主番号(9桁)は、本誌と同封の「配当金計算書」等に記載してあります。

● 締切 7月16日(木) <当日消印有効>

● 抽選 お申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。

なお、抽選の結果は8月14日(金)までにご案内いたします。

お問い合わせ先

北陸電力(株) 総務部株式チーム

TEL(076)441-2511<代表>

※8:40～17:20(土・日・祝日を除く)

株主information

会社概要

(平成27年3月31日現在)

- 設立年月日 昭和26年5月1日
- 資本金 1,176億4,154万9,080円
- 発行可能株式総数 4億株
- 発行済株式総数 2億1,033万3,694株
- 販売区域 富山県、石川県、福井県(一部を除く)、岐阜県の一部
- 従業員数 4,956名(出向者等を除く)
- 供給設備
 - 発電所
 - 水力 130か所 出力/191.4万kW
 - 火力 6か所 出力/440.0万kW
 - 原子力 1か所 出力/174.6万kW*
 - 新緑ギ 6か所 出力/ 0.8万kW
 - 計 143か所 出力/806.8万kW
 - ※：志賀2号機において、整流板を設置して運転の場合
 - 送電線 電線路こう長 3,329km
 - 変電所 202か所 出力/3,020万kVA
 - 配電線 電線延長 12万1,944km

■主要事業所

- 本店 富山市牛島町15番1号
- 地域共生本部 金沢市下本多町六番丁11番地
- 原子力本部 石川県羽咋郡志賀町高浜町213番地21
- 富山支店 富山市牛島町13番15号
- 高岡支社 高岡市広小路7番15号
- 魚津支社 魚津市新金屋一丁目12番12号
- 石川支店 金沢市下本多町六番丁11番地
- 七尾支社 七尾市三島町61の7
- 小松支社 小松市栄町25の1
- 福井支店 福井市日之出一丁目4番1号
- 丹南支社 越前市新町10字東野末1の6
- 東京支社 東京都港区虎ノ門二丁目8番1号
虎の門電気ビルディング6階

役員

(平成27年6月25日現在)

- 取締役会長 久和 進 常勤監査役 高桑 幸一
- 取締役社長 社長執行役員 金井 豊 常勤監査役 湊見 隆昌
- 取締役副社長 副社長執行役員 赤丸 準一 監査役 細川 俊彦
- 取締役副社長 副社長執行役員 矢野 茂 監査役 秋庭 悦子
- 取締役副社長 副社長執行役員 西野 彰純 監査役 伊東 忠昭
- 取締役常務執行役員 堀田 正之
- 取締役常務執行役員 長谷川 俊行
- 取締役常務執行役員 尾島 志朗
- 取締役常務執行役員 高林 幸裕
- 取締役常務執行役員 石黒 伸彦
- 取締役 深山 彬
- 取締役 川田 達男
- 取締役 高木 繁雄

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 配当金の受領株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 単元株式数 100株
- 証券コード 9505
- 公告方法 電子公告により、当社のホームページに掲載して行います。
(<http://www.rikuden.co.jp/>)

- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 【郵便物ご送付先】 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 【お問い合わせ先】 ☎ 0120-782-031
- 【ホームページ】 <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

株式に関する手続きおよびお問い合わせ先について

- <証券会社に口座を開設されている株主さま>
口座を開設された証券会社にお申出ください
- <証券会社に口座を開設されていない株主さま(特別口座株主さま)>
三井住友信託銀行 証券代行部にお申出ください



〒930-8686 富山市牛島町15番1号
電話 076-441-2511(代表)
<http://www.rikuden.co.jp/>
発行/総務部株式会社チーム 平成27年6月

